

九州大学生協 夏研修



[組織運営]

取り組み概要

日時：9月20日～21日

場所：生協食堂

参加者の反応：学生委員同士とも職員とも楽しく交流をおこない、学んでいた。

● 背景や概要：引退を控える3年生が後輩達へ向けた企画。参加者である1,2年生は多くを学びつつ、多くの部員との交流を通して部全体としての一体感や意識を高めるきっかけにもなっていた。

先輩の最後の背中

POINT.1

先輩たちが培った力や想いを講義



↑ Googleスプレッドシートの応用方法の講義

引退を控えた先輩が様々な方法で培った**技術や考えを講義形式で伝授していました**。2日間で24コマ開講され、1,2年生は1人当たり最大8コマの講義を受講していました。講義は**企画責任者の心構えやMCについて**など真面目な内容から、**爬虫類やおじさん構文**についてなど爆笑に包まれる内容までバラエティ豊かでした。

講義内容はもちろん、授業のスライドやしゃべり方など**3年生がこれまでに培った経験**が活かされており、後輩たちの学びの機会となっています。

POINT.2

生協職員と学生委員が全員同じ目線で交流

全体での交流では**職員との交流を行うプログラム**もありました。coop食品などを用いた格付けチェックやお題解決の企画を0から創るなどのプログラムを職員と部員が同じ目線で参加し楽しんでおり、**お互いがより親密になっている**ように感じました。もちろん部員同士の交流にもなっており、人数が多い学生委員会だからこそ、こういった組織内交流を積極的に行うことを大事にしているようです。



↑ 生協商品を当てろ!! 格付けチェック

POINT.3

学生委員会を見つめ直す



全体のプログラムでは交流だけではなく、より学び合う時間もありました。共済連の職員さんから**共済について**、専務から**九大生協の歴史と現状について**、話してもらいました。また、3年生が与えたお題について**新しい企画の案だしをする**など、学生委員として必要な知識、意識する考え方を見つめ直す時間になっていました。学生委員の人数が増加し、多種多様な価値観や考えが生まれるときこそ、**生協は何なのか、なぜこの活動を行うか**などの根本を振り返る意識は必要ですね。

